「GIS を用いた地域の建造環境と母子健康との関連」に参加される方へ

エコチル調査の参加者の方々にご回答いただいたデータの一部を、下記にご説明させていただく追加研究「GIS を用いた地域の建造環境と母子健康との関連」のために利用させていただきます。追加研究への参加を取りやめたい場合には、下記の問い合わせ先までご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

［ 研究課題名 ］

GIS を用いた地域の建造環境と母子健康との関連

［ 研究機関名及び研究責任者氏名 ］

研究機関名 国立環境研究所

研究者：

（国立環境研究所環境リスク・健康領域/エコチル調査コアセンター）山崎新、関山牧子、Zin Wai Htay、Jiang Hongwei

（国立環境研究所社会システム領域）土屋一彬、木村圭一

（国立環境研究所生物多様性領域）角谷拓、近藤夏子、小出大、石濱史子、深沢圭太、山野博哉

［ 研究期間 ］

研究の実施許可日～２０３１年3月３１日

［ 研究目的 ］

近年、私たちが暮らす地域の建造環境（built environment）が、緑地の有無、土地利用、歩行しやすさなどを通じて、母親や子どもの健康と関連することが指摘されています。また、気候変動の進行などによって、こうした建造環境そのものも影響を受ける可能性があり、自然の力を上手に活かしながら整備していくことが重要となっています。

本研究では、ネイチャーベースド・ソリューション（Nature-based Solutions: NbS）および気候変動適応の視点から、地域の建造環境が母子の健康に及ぼす影響を定量的に明らかにすることを目的としています。

［対象となる方］

エコチル調査本体調査に参加される方

［研究の方法］

国立環境研究所・エコチル調査コアセンターは、匿名化された個人情報の解析を行います。研究参加者の皆さんに新たにご負担いただくことはありません。

［倫理的配慮］

本研究は、2026 年 1月に国立環境研究所の倫理委員会にて承認を得た上で進められています（受付番号：2025-0023)。また、利益関係のある団体等の調査への関与はございません。今回の研究成果は、国立環境研究所情報セキュリティポリシーに従った適正な管理を行います。

［ 個人情報保護 ］

本研究に関して「GIS を用いた地域の建造環境と母子健康との関連」の参加者の方々から新たに取得される情報等はありません。既にご提供いただいている情報等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があり、国立環境研究所にて管理させていただきます。

参加者の皆さんの個人情報等が他の方々に伝わることはもちろんありません。この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。研究に参加いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究の成果は、参加者の方々の氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌で公表します。取得した情報・データ等は厳重な管理のもと、研究終了後 10 年間保存され、その後廃棄いたします。なお、研究データを統計データとしてまとめたものについては、お問い合わせがあれば開示いたしますので、下記までご連絡ください。

［ ご質問、および本研究へのデータ提供を希望しない場合 ］

本研究に関するご質問がある場合や、追加研究への参加を取りやめたい場合には、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。データ解析完了後または研究成果の発表後には、特定のデータのみを削除することが困難となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。なお、研究協力に同意しないことや同意を撤回することにより、利用者の皆様への不利益は一切ございません。

［ 本研究の実施に関する問合せ先 ］

国立研究開発法人 国立環境研究所
環境リスク健康領域環境疫学研究室/エコチル調査コアセンター
研究代表者：関山牧子
E-mail：sekiyama@（末尾に“@nies.go.jp”をつけてください）